

丸ごと一冊マーティンD-28 追加・訂正内容

ページ	内 容
5	1934年製D-28の仕様で、「Xブレイシングがサウンドホールから1インチ (25.4mm) の位置でクロスする」は、25.4mmでなく約30mmです。
4	1935年、追加です。 前半にXブレイシングのクロス位置がサウンドホールの端から30mm→25.4mm (1インチ) に変更されました。 フォワード・シフテッド・Xブレイシングは一般的にこの変更後の仕様を言います。
4	1935年 ベグ (グローバーG-98) ボタンに段差の無いものへ変更、ではなく、台座の上下の形状が平らな物から、とがった物へ変更されました。
4,5	ベグの4ページの写真「9」と5ページの写真「15」が逆です。
4	1938年 トップ・プレート・ブレースが付けられたのは1939年です。
4	1939年 Xブレイシングのクロス位置について、サウンドホールの下端より1インチ (25.4ミリ) から、「1 5/8インチ(41.3mm)へ」は誤りで、「1 13/16インチ (46ミリ) へ」です。 また、この変更は1939年初頭でなく、1938年後期です。 この仕様はリア・シフテッド・ブレイシングと呼ばれます。
5	1939年の指板の幅の記載で、12フレット部分の幅は、2 5/16インチ(58.7mm)ではなく、2 1/8 (54.0mm) です。
5	1939年 シールドバック・グローバーの型番「G-111」です。
5	1940年 変更されたベグはクルーソン製でなく、ウェヴァリー製です。 また、1940年でなく、1941年です。
6	1945年 変更されたベグはクルーソン製でなく、ウェヴァリー製です。
6	1957年、追加です。 この頃、Xブレイシングのクロス位置が1 13/16インチ (46ミリ) から1 1/2インチ (38ミリ) に変更されました。この仕様は2016年まで続きます。
6	1958年、追加です。 この年に変更されたグローヴァー・ロートマティック (G-102) のワッシャーは小さいタイプです。
6	1960年、追加です。 おそらく後半に、ベグのワッシャーの径が大きくなります。
6	1962年 ボディ内側のセンターバックストリップのブランドスタンプに、「MADE IN U.S.A」が追加されたのは1961年です。
7	1964年、追加です。 この頃から、ヘッドの角度が約16度から約14度に変更されています。
7	1966年、追加です。 ベグヘッド・ロゴの書体に変更されました。現在「オールド」スタイルと呼ばれています。
8	1979年 ベグがシャラーに変更開始されたのは1978年です。ワッシャーは黒色です。 (マーティン社の情報では1979年、シリアル№416625からとなっています。)
9	1982年 シャラー製ベグのデザインが変更され、ギア・カバーのシャラー・ロゴがマーティン・ロゴとなったのは1981年です。
9	1982年、追加です。 この頃、ベグのワッシャーが銀色の物に変更されました。
14	1998年 D-28LSVは、HD-28LSVの誤りです。
11	1991年 ブリッジ・ピン・ホールの弦をガイドする切れ込みをなくしたのは1992年です。
13	1993年、追加です。 指板12フレットのサイド・ドットの数1個から2個に変更されました。
12	1997年 この頃、ピンテージ・シリーズに使用されていたオールド・スタイル・ヘッドプレート・ロゴの書体に変更されました。
24	右上のシリアル#410169のD-28の製造年は'78でなく、'79です。
33	D-28新旧比較 1934年製、Xブレイシングのクロス位置、サウンドホールから1インチ (25.4mm) でなく、約30mmです。
90	ヘッドバイディングは、ベグヘッドの縁取りの白いところです。
90	14フレットは、ベグヘッド側から数えて14番目のフレットのところです。
131	オールドスタイル・デカール・ロゴ オールドスタイル・デカール・ロゴは1966年から1993年までのロゴを指します。 オーセンティック・シリーズ等に使用されている旧タイプのロゴはゴールデン・エラ・タイプと呼ばれています。ちなみに、1934年から1966年まで使用されていたロゴは復刻されていません。
133	1956年のラスト・シリアルナンバーは153225でなく152775です。